学校番号	４０７

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「標準古典Ｂ」　（第一学習社）						
副教材等	「新訂国語図説　四訂版」　（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年生では、１年次から学んできた知識を生かし、より正確に内容を理解できるように心がけましょう。
・有名な古文と漢文の作品に親しみ、現代にも通じる人の心の動きに触れましょう。そのために、語彙や文法の知識をしっかりと身に付けましょう。
・予習として、本文を読み、ノートに写しておきましょう。授業を思い出して日頃から復習することも大切です。
・提出物の期限は守りましょう。
・考査の勉強は、計画を立てて早めに臨みましょう。

2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、我が国の伝統と文化に対する理解を深めます。また、古文と漢文に触れることで、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を深めている。
評価方法	行動の観察 記述の確認 （ノート、プリント等）	記述の確認 （ノート、プリント等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、プリント等） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	説話、随筆	教材: 説話『宇治拾遺物語』 「亀を買ひて放つ事」 随筆『枕草子』 「すさまじきもの」	○	◎	○	a:文章に描かれている情景や人物の心情を表現に即して的確に読み取ろうとしている。 b:文章に描かれている情景や人物の心情を表現に即して的確に読み取っている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身につけている。	〈記述の確認／定期考査〉
	物語、日記	教材: 歌物語『大和物語』 「姨捨」 日記『更級日記』 「門出」	○	○	○	a:文章に描かれている情景や人物の心情を表現に即して的確に読み取ろうとしている。 b:文章に描かれている情景や人物の心情を表現に即して的確に読み取っている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身につけている。	〈記述の確認／定期考査〉
2学期	漢文	教材: 『幽明録』 「新死鬼」	○	◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 b:考えの進め方や、情景や心情の推移などを把握し、文章の筋道を的確に捉えている。 c:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身につけている。	〈記述の確認／定期考査〉
	物語	教材: 『大鏡』 「三舟の才」 『源氏物語』 「光る君誕生(桐壺)」	○	◎	○	a:文章に描かれている情景や人物の心情を表現に即して的確に読み取ろうとしている。 b:文章に描かれている情景や人物の心情を表現に即して的確に読み取っている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身につけている。	〈記述の確認／定期考査〉

3学期	軍記物を読む	教材: 『平家物語』 「能登殿の最期」	○	◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 b:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身につけている。	〈記述の確認／定期考査〉

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b：読む能力　　c：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点について〇を付けている